

## 国語科（書写）指導案

### 1 単元名 「文字の組み立て方（三つの部分）」 「硬筆の学習 文字の組み立て方（左右、上下、中と外）」

### 2 単元について

本単元は、学習指導要領解説第3章、第5学年及び第6学年の〔知識及び技能〕（3）我が国の言語文化に関する事項において、

エ（ア）用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。

エ（イ）毛筆を使用し、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。  
を受けて、設定されている。

本単元は、三つ部分からなる漢字の組み立て方の原理・原則を身に付け、字形を整えて書く力を養うことをねらいとしている。まず、『湖』を教材とし、毛筆を用いて三つの部分の組み立て方の学習を行う。次に、硬筆を用いて文字の組み立て方の学習の応用へとつなげていく。

児童は、これまでに左右、上下、中と外の組み立て方等、点画どうしのゆずり合いを学習してきた。三つの部分の組み立て方では、それぞれの部分の幅がさらに狭くなり、大きさや形の変化が生じる。本教材である『湖』では、中心にある『古』の部分について、幅だけでなく全体の高さも低くすることで『月』の左はらいとゆずり合っていることに着目させたい。また、三つの部分の組み立てから成る文字は画数が増える傾向にある。筆の持ち方、筆圧のかけ方を工夫し強弱のある線を書けるようにする必要もある。これらの学習をふまえ、硬筆の学習を通して様々な文字例にふれることで、原理・原則を発見し、新たな文字に出会ったときにも字形を捉え、整えて書く力を養うことをねらいとする。

### 3 単元の目標

- 三つの部分の組み立て方について理解し、組み立て方に気をつけて、毛筆や硬筆で字形を整えて書くことができる。【知識及び技能】
- 左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で書くことができる。【知識及び技能】
- 文字の組み立て方について考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 文字の組み立て方について理解し、気をつけて書こうとする。【学びに向かう力、人間性】

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 三つの部分の幅の違いや点画の変化について理解している。	① 三つの部分の組み立て方について考えている。	① 他の文字や硬筆でも、文字の組み立て方に気をつけて書こうとしている。
② 三つの部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて書いている。	② 左右、上下、中と外の部分の組み立て方について考えている。	② 左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で書こうとしている。
③ 左右・上下・中と外の組み立て方を理解し、気をつけて書いている。		

## 5 単元の指導計画（3時間扱い）

時	○学習内容 ・ねらい	評価規準（方法）		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○三つの部分の組み立て方について理解し、「湖」を書く。 ・三つの部分の組み立て方について理解することができる。	◇①（作品）	◆①（作品）	
2	○三つの部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えて「湖」を書く。 ・三つの部分の組み立て方に気をつけて、字形を整えてかくことができる。 ・三つの部分の組み立て方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	◇①（作品）	◆①（作品）	◇①（態度）
3 （本時）	○「湖」以外の三つの部分の組み立てからできている文字や中と外の組み立て方でできている文字を硬筆で書く。 ・左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で書くことができる。	◇②（ワークシート）	◆②（発言、ワークシート）	◇②（ワークシート）

## 6 本時の指導（3／3）

### （1）目標

- ・左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。

【知識及び技能】

- ・文字の組み立て方を理解し、字形に気をつけて書こうとする。【学びに向かう力、人間性等】

### （2）授業の視点

#### 視点1 自ら学ぶ力を高めるための知識・技能の習得

手立て：硬毛関連のための筆ペン・水書活用

毛筆で学んだ三つの部分の組み立て方を、硬筆でも意識して書けるようになるために水書と筆ペンを使った練習時間を設ける。その際、自分に合った方を選択できるようにする。また、硬筆よりも文字が大きくなることを予想し、練習用の水書用紙とワークシートは、硬筆用のマス目よりも大きめのものにして点画がしっかり書けるようにする。毛筆からすぐに硬筆に移るのではなく、間に水書や筆ペンでの書字活動を取り入れることで、手の中で小さく動く硬筆でも字形を整えやすくなると考える。

#### 視点2 自ら考えるための思考力・判断力・表現力の育成

手立て：タブレットを活用した話し合い活動

文字の原理・原則に気づくための手立てとして、タブレットを活用した比較検討を行う。

児童の試書とデジタル教科書の紙面を比較検討し、気づいたことを書き込んだり、グループや学級全体で共有したりする活動を取り入れる。これにより、紙面のみで確認するよりも、外形を捉えたうえで組み立て方の共通点を自分たちで見出しやすくなるを考える。

### (3) 展開

過程	学習活動と内容	○教師の指導、支援 ◇評価	資料
目標 把握	1 硬筆で試書をしたものをもとに、 気付いたことを話し合う。  左右：「衛」「測」「術」 上下：「葉」「案」 中と外：「属」「関」「医」「団」	○「湖」の学習したことを想起させる。 ○3つの部分の組み立て方を事前に 試書したものと比較させ、文字の組 み立て方について学習することを つかませる。	「湖」の資料  ワークシ ート
	2 本時のめあてをつかむ。  それぞれの文字の組み立て方に気を付けて、字形を整えて書こう。		
練習	3 教科書の教材文字と比較し、組み 立て方のきまりについて話し合う。 ・「左右」「上下」「中と外」のどれか について話し合う。 ・デジタル教科書に気付いたことを 書きこむ。 ・書き込んだことをもとに、原理・ 原則となることを話し合う。  左右：幅を狭くする。 真ん中を小さく書く。 部分どうしが寄り合う。 上下：幅を狭くする。 真ん中の横画が一番長い。 部分どうしが寄り合う。 中と外：「かまえ」の部分の幅が広 すぎないように書く。	○比較検討し、文字の組み立て方につ いて、共通点を見つけるように伝え る。 ・グループを作り、担当する組み立 て方について話し合うように伝える。 ・デジタル教科書をタブレット端末で 操作し、気付いたことをペンで書き こむ。 ・比較検討したことを、テレビで共有 して、それぞれの組み立て方のきま りを確認する。	デジタル教科書
	4 教科書の文字と試書を比べて、自 分の課題を確認して練習する。 ・練習用紙、用筆の選択をする。  ワークシート 1) 中心線と外形 2) 始筆の点があるもの 3) 部分の補助線のあるもの ※筆順を示す。	○試書に印をつけて、自分の課題を選 択させる。 ・課題が決められない児童には、助言 をする。 ○それぞれの課題に合わせたワーク シートを用意する。 ・自分が担当した組み立て方から練習 することを伝える。 ・はじめに、筆ペンや水書で練習をし、	練習用紙 水書用筆 水書用紙 筆ペン

<p>まとめ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>用筆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水書用筆</li> <li>水書用紙（罫線あり・なし）</li> <li>・筆ペン</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書いたものを見合い、アドバイスをし合う。</li> <li>・アドバイスをもとに、練習をする。</li> </ul> <p>5 まとめ書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートにまとめ書きをする。</li> </ul> <p>6 振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試書とまとめ書きを比較し、自己評価を行う。</li> <li>・ペアで相互評価を行う。</li> <li>・ふり返りを書く。</li> <li>・自分の名前や、漢字一覧表から三つの部分からできている漢字を探し、ワークシートに書く。</li> </ul>	<p>その後硬筆で練習するように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・硬筆の持ち方、姿勢を意識させる。</li> <li>・途中で、練習中のものを見せ合いながら、お互いにアドバイスをし合う。</li> </ul> <p>◇左右、上下、中と外の組み立て方に気をつけて、硬筆で書こうとしている。（行動観察・ワークシート）</p> <p style="text-align: center;"><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>○ワークシートにまとめ書きをするように伝える。</p> <p>◇左右、上下、中と外の組み立て方に気を付けて書いている（ワークシート）<b>【知識・技能】</b></p> <p>○学習問題に立ち返り、本時の学習を振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに自己評価を記入するように伝える。</li> <li>・ペアで、相互評価を行うように伝える。</li> <li>・ふり返りが終わった人は、本時で扱った文字以外にも、三つの部分の組み合わせになっている漢字を見つけて書くように伝える。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート 教科書</p>
------------	--	---	-------------------------------------

**(4) 板書計画**

<p>中と外：「属」「関」「医」「団」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かまえ」の部分の幅が広すぎないように書く。</li> </ul>	<p>上下：「葉」「案」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅を狭くする。</li> <li>・真ん中の横画が一番長い。</li> <li>・部分どうしが寄り合う。</li> </ul>	<p>左右：「衛」「測」「術」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅を狭くする。</li> <li>・真ん中を小さく書く。</li> <li>・部分どうしが寄り合う。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>湖</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部分の幅はせまく</li> <li>・真ん中の「古」を小さく</li> <li>・「月」のはらいは「古」の下</li> </ul> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>それぞれの文字の組み立て方に気を付けて、字形を整えて書こう。</p> </div>
---	--	---	---	---